

北海道大学創基 150 周年記念シンポジウム in 東京

「札幌農学校から 150 年 —Be ambitious! 北大『知のフロンティア』が拓く食の未来—」を開催

【概要】

北海道大学は、令和 8 年 8 月 22 日（土）に北海道大学創基 150 周年記念シンポジウム in 東京「札幌農学校から 150 年 —Be ambitious! 北大『知のフロンティア』が拓く食の未来—」を開催します。

【趣旨】

「食」は人類の生存を支える基盤であるとともに生活を豊かにし、彩りをもたらします。本シンポジウムでは、革新的な生産技術や加工・醸造、健康を支える食の機能性、生産の基盤となる農村計画など、北海道大学の多岐にわたる「知のフロンティア」が集結し、より確実・効率的・安定的に食を支え、豊かな食を楽しめる社会の構築について考えます。

- 【日 程】** 令和 8 年 8 月 22 日（土） 13 時 30 分～17 時 00 分（受付：12 時 45 分から）
【場 所】 ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 5F）
【主 催】 北海道大学
【対 象】 一般市民
【募集人数】 250 人（事前申込制）
【参加費】 無料
【言 語】 日本語

【プログラム】

- オープニングトーク 北海道大学 総長 寶金清博 × 齊田季実治氏（水産学部 OB）
講演①：環境と共生しながら科学技術と日本の草で美味しい牛肉を生産する技術開発を目指して
北方生物圏フィールド科学センター 教授 後藤貴文
講演②：水産は北から～水産学のはじまり、水産学部発の増養殖研究のあゆみと展望～
北方生物圏フィールド科学センター 教授 平松尚志
講演③：農・食と社会をつなげる融合研究：ワインから考える地域課題解決
農学研究院 教授 曾根輝雄
講演④：農産物等由来食品が満腹感を与えるメカニズム—食事成分による肥満・糖尿病の予防へ—
農学研究院 教授 比良 徹
講演⑤：北海道農村の「生活と生産」をつなぎ直す—建築計画からのアプローチ
工学研究院 准教授 野村理恵
パネルディスカッション モデレーター 北海道大学 理事・副学長 瀬戸口剛
※展示イベント同日開催（12：00～17：30）

【申込方法】 7月31日（金）までに、以下の申込フォームからご登録ください。

<https://forms.gle/dYRqVWGzsWTnXAtv9>

【特設ページ】 <https://150th.hokudai.ac.jp/event/6329>

お問い合わせ先

北海道大学研究推進部研究振興企画課 大桃琢磨（おおももたくま）

T E L 011-706-2194 F A X 011-706-4873

メール symposium@research.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

札幌農学校から150年

Be ambitious!

北大「知のフロンティア」が 拓く食の未来

2026
8 / 22 **土**

参加費無料 参加者定員250名

13:30～17:00

ステーションコンファレンス東京
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5F

「食」は人類の生存を支える基盤であるとともに生活を豊かにし、彩りをもたらします。本シンポジウムでは、革新的な生産技術や加工・醸造、健康を支える食の機能性、生産の基盤となる農村計画など、北海道大学の多岐にわたる「知のフロンティア」が集結し、より確実・効率的・安定的に食を支え、豊かな食を楽しめる社会の構築について考えます。

申込
方法

応募締切 2026年7月31日(金) [お申し込みはこちらから](#)

- 参加をご希望の方は、7月31日(金)までにホームページから必須事項をご記入のうえお申込みください。●応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。●抽選結果は8月7日(金)までにメールにてお戻しいたします。



Program

オープニングトーク

司会 「ニュースウオッチ9」気象キャスター
気象予報士/気象防災アドバイザー/防災士/一級危機管理士 齊田 季実治 × 北海道大学総長 寶金 清博

講演1

環境と共生しながら科学技術と日本の草で
美味な牛肉を生産する技術開発を目指して

北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター 教授

後藤 貴文

講演2

水産は北から～水産学のはじまり、
水産学部発の増養殖研究のあゆみと展望～

北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター 教授

平松 尚志

講演3

農・食と社会をつなげる融合研究：
ワインから考える地域課題解決

北海道大学 農学研究院 教授

曾根 輝雄

講演4

農産物等由来食品が満腹感を与えるメカニズム
—食事成分による肥満・糖尿病の予防へ—

北海道大学 農学研究院 教授

比良 徹

講演5

北海道農村の「生活と生産」をつなぎ直す
—建築計画からのアプローチ

北海道大学 工学研究院 准教授

野村 理恵

パネルディスカッション モデレーター 北海道大学理事 瀬戸口 剛

同日開催

展示イベント
12:00～17:30

スマート農業体験(ロボットトラクタ遠隔操作)
北大関連食品試食・試飲コーナー、パネル展示など

事前
申し込み
不要



札幌農学校から150年

-Be ambitious! 北大「知のフロンティア」が 拓く食の未来-

司会 「ニュースウォッチ9」気象キャスター
気象予報士／気象防災アドバイザー／
防災士／一級危機管理士

齊田 季実治 氏 北海道大学
水産学部 卒業生

寶金 清博 北海道大学総長



講演者紹介



環境と共生しながら科学技術と日本の草で美味しい牛肉を生産する技術開発を目指して

北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター
教授

後藤 貴文

1996年九州大学大学院農学研究科博士課程修了、博士（農学、九州大学1997年）。2022年より北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授、現在に至る。2001年日本畜産学会賞受賞。家畜感染症学会会長、日本DOHaD学会代議員、日本食肉科学会 常務理事、全国大学附属農場協議会会長、及び日本学術会議 第25-26期 連携会員。



水産は北から～水産学のはじまり、水産学部発の増養殖研究のあゆみと展望～

北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター
教授

平松 尚志

1998年北海道大学大学院水産学研究科博士課程修了、水産学博士。日本学術振興会研究員（1996～）、米国ノースカロライナ州立大学研究員（1999～）、北海道大学水産科学研究院助手～准教授（2006～）を経て、同北方生物圏フィールド科学センター教授（2025～）。魚類生理学を専門とし、サケマスやメバル類の増養殖研究の実装を目指す。水産学会水産学奨励賞受賞。



農・食と社会をつなげる融合研究：ワインから考える地域課題解決

北海道大学 農学研究院 教授

曾根 輝雄

1997年北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了、博士（農学）。その後、プリティッシュコロンビア大学植物学科ポストドクトラルフェロー、日本学術振興会特別研究員を経て2000年より北海道大学大学院農学研究科助手。同講師、准教授を経て2016年より北海道大学大学院農学研究院教授、現在に至る。その後、2021～2024年寄附講座「北海道ワインのヌーヴェルヴァーグ研究室」教授（兼任）、2022年より北海道ワイン教育研究センター センター長（兼任）、2023年より大学院国際食資源学院 学院長。

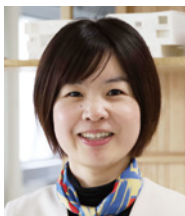


農産物等由来食品が満腹感を与えるメカニズム—食事成分による肥満・糖尿病の予防へ—

北海道大学 農学研究院 教授

比良 徹

北海道大学農学部農芸化学科を卒業後、北海道大学大学院農学研究科博士後期課程農芸化学専攻を修了。北海道大学大学院農学研究科 助手、北海道大学大学院農学研究院 准教授を経て2026年に北海道大学大学院農学研究院 教授（現職）。消化管内分泌細胞における食品成分の認識機構を研究している。



北海道農村の「生活と生産」をつなぎ直す—建築計画からのアプローチ

北海道大学 工学研究院 准教授

野村 理恵

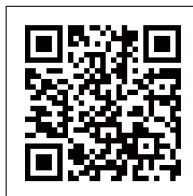
2010年に奈良女子大学大学院博士後期課程を修了。2011年に北海道大学大学院工学研究院建築計画学研究室助教に着任し、2018年より現職。博士課程ではモンゴル牧畜民の住生活に関する研究に従事し、その経験を契機として「移動と定住」を主題とする研究を展開している。現在は国内外の農村地域を対象に、居住のあり方を地域社会・生業・環境との関係から総合的に捉える研究に取り組んでいる。

主催 国立大学法人北海道大学

お問い合わせ先

北海道大学研究推進部研究振興企画課
symposium@research.hokudai.ac.jp

北海道大学創基150周年記念特設サイト <https://150th.hokudai.ac.jp/event/6329>



2026年、北海道大学は創基150周年を迎えます。



北海道大学

150th
HOKKAIDO UNIVERSITY